

週間漁海況情報 2024年第3号

令和6年1月16日発行

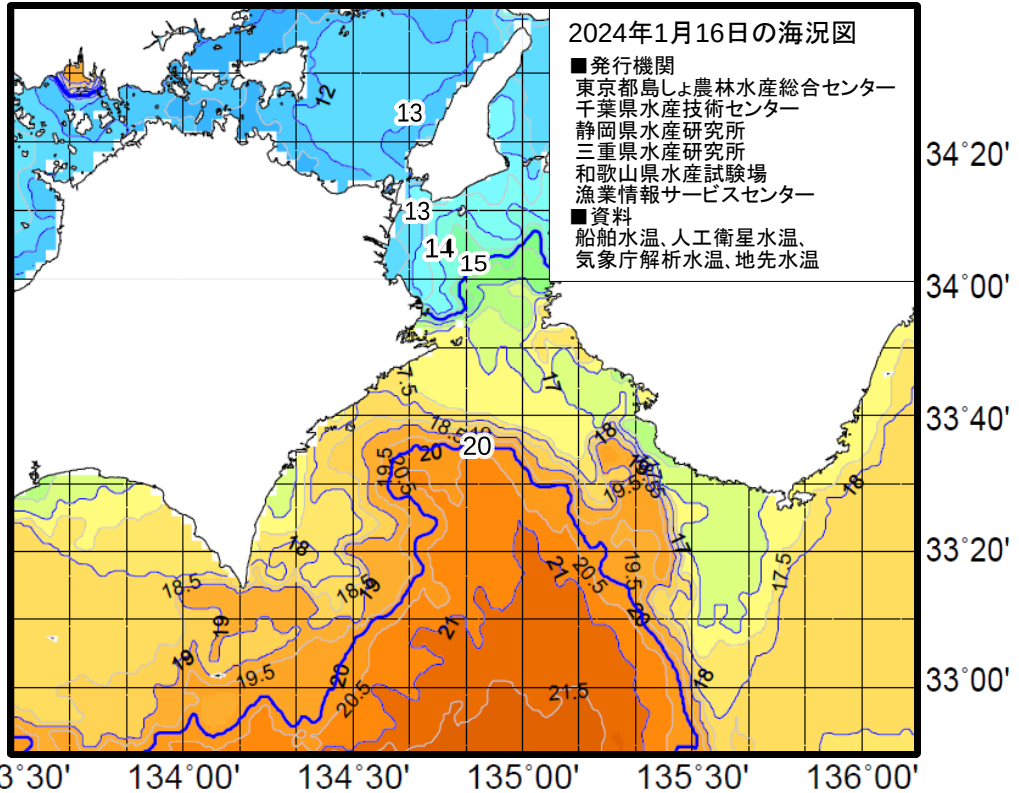
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖37マイル付近、潮岬沖123マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。黒潮は室戸岬に近づいており、黒潮本流から紀伊水道外域へ暖水波及が見られる。今後、黒潮が近づく位置は室戸岬沖から東へ移動していくと予測されている。

黒潮の表面水温は21～22℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は11～12℃、紀伊水道は12～17℃、海部沿岸は17～18℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

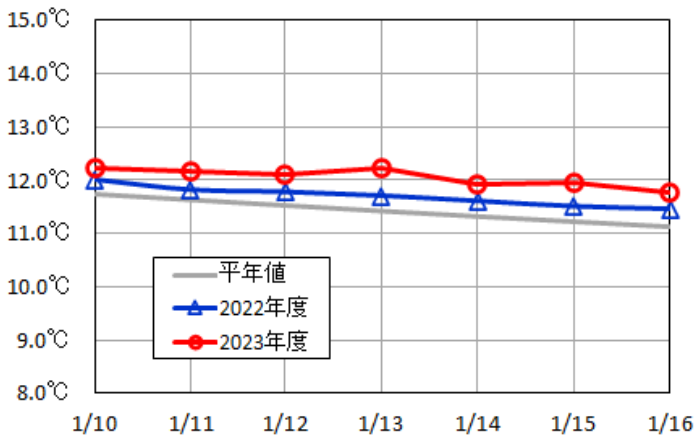
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

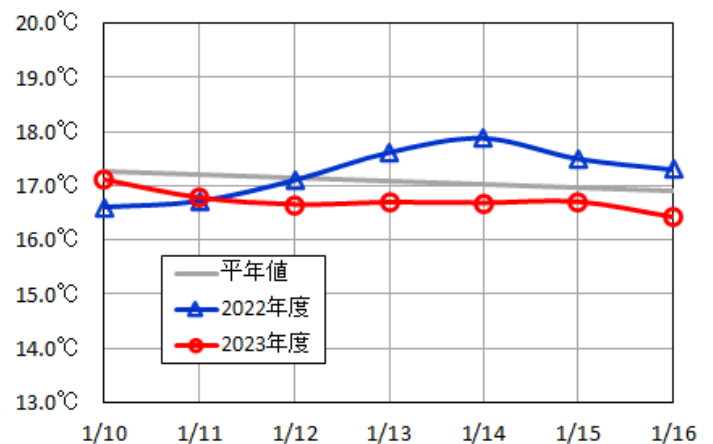
2. 地先水温(1月10日~1月16日)

鳴門地区の水温は、11.7~12.2℃で「やや高め」、浅川地区は、16.4~17.2℃で「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は4.4~4.8℃で、先週とほぼ同じであった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月17日~1月23日)

黒潮は、室戸岬沖は「やや離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区ともに、「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (1月8日～1月14日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

延縄では、ブリが増えてめじろ級主体に0.3ト、あまだい類が大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 建網では、メジナが大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが増えて1.3ト、イサキが大きく増えて0.5ト、カワハギが大きく減って大主体に0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、コウイカが大きく増えて大主体に1.3ト、えそ類が減って0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、メジナが大きく減って0.5ト水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが大きく増えて小あじ主体に6.6ト、クサヤムロが大きく増えて小主体に2.8ト、メアジが大きく増えて2.6ト、マルアジが増えて小小主体に2.2ト、マサバが増えて小主体に1.4ト、ウルメイワシが大きく増えて大主体に0.5ト、ゴマサバが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	延縄	20	ブリ	332	17	めじろ級主体	↗
		46	あまだい類	321	7		↗↗
	建網	31	メジナ	325	10		↗↗
	小型定置網	20	マアジ	1,328	66		↗
		11	イサキ	502	46		↗↗
		20	カワハギ	344	17	大主体	↘↘
	底びき網	20	コウイカ	1,346	67	大主体	↗↗
		21	えそ類	531	25		↘
海部沿岸	小型定置網	9	メジナ	485	54		↘↘
	大型定置網	5	マアジ	6,608	1,322	小あじ主体	↗↗
		5	クサヤムロ	2,762	552	小主体	↗↗
		5	メアジ	2,614	523		↗↗
		5	マルアジ	2,167	433	小小主体	↗
		5	マサバ	1,376	275	小主体	↗
		4	ウルメイワシ	545	136	大主体	↗↗
		5	ゴマサバ	484	97		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘